B２３ 中　級 （PC 実習あり）	化学特許調査の実践 化学特許調査における種類別（製法、用途）の検索実践 検索結果の加工と活用方法

講　師	平野 邦男（元 出光興産㈱　知的財産部）
日程・場所	東京会場
	6 月 25 日（金）　日程変更　12 月 22 日（水）
時　間	1 日間（10:00～16:00）// 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定　員	24 名（先着順申し込み）
受講料	20,000 円（税込 22,000 円）
対　象	化学系分野の特許調査担当の中級者

内　容

化学分野の特許情報検索の本格的な実践講座です。化学特許は製法から用途まで幅広く検索のアプローチを間違えるととんでもない検索結果となります。正確な調査テーマの把握と適切な調査ツールの使い分けが重要です。

本講座ではテーマ別に特許調査に必要なキーワード・特許分類（ＦＩ、Ｆターム）の抽出から適切な検索式の作成までを実際のテーマで実習します。更に、検索結果の活用法（特許情報の簡易な加工法）を習得します。特許調査の担当者向けです。

開発部門や知財部門調査担当者のスキルアップ講座としてご参加下さい。

プログラム

１．適切な検索（検索担当者として必要なもの）
- 依頼受付時の適切な対応
- 目的別検索法
- キーワードと特許分類
  - ポリカーボネート樹脂組成物の件数比較（キーワード、ＦＩ、Ｆタームの比較）
  - テーマ検索
    - 乳酸菌で発酵させた食品用豆乳
      ～特許分類の有用性、キーワード選択の重要性～

２．検索実習　～適合率の高い検索、再現率の高い検索、上位概念の検索～
- ほうれん草を含有したゼリー状誤嚥防止食品
- ＡＢＳ樹脂と炭素繊維を含有した電磁波シールド性ポリカーボネート
  ～Ｆタームの付加コードを活用～

３．エクセルを用いた検索結果の加工法

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。　URL: https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html

【備考】
- 商用の特許情報データベース「ＪＰ－ＮＥＴ」による検索実習を予定しております。（ＰＣは当社にてご用意いたします。）
- セミナーで使用したデータは参加者の方へ配布いたします。当日、USB メモリをご持参いただければ、演習結果等をお持ち帰り頂けます。（事務局より事後の配布は致しませんのでご了承ください。）
- セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。